



2018年3月期 第3四半期 決算説明資料

2018年2月8日

2018年3月期 第3四半期決算の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2017年 3月期 3Q	2018年 3月期 3Q	増減額 (率)
売上収益	934	1,102	168 (18.0%)
営業利益	93	125	32 (33.8%)
税引前四半期利益	91	126	34 (37.4%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	73	95	22 (30.1%)

<前年同期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

機能製品を中心に、すべてのセグメントが増収。

〔営業利益〕

機能製品、化学製品、樹脂製品等の増益により、増益。

〔税引前四半期利益〕

営業利益の増加により増益。

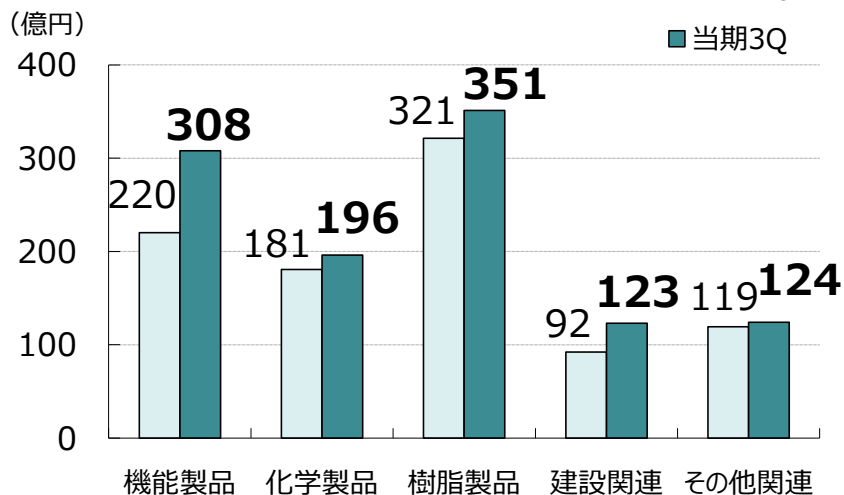
〔親会社四半期利益〕

税引前四半期利益の増加により増益。

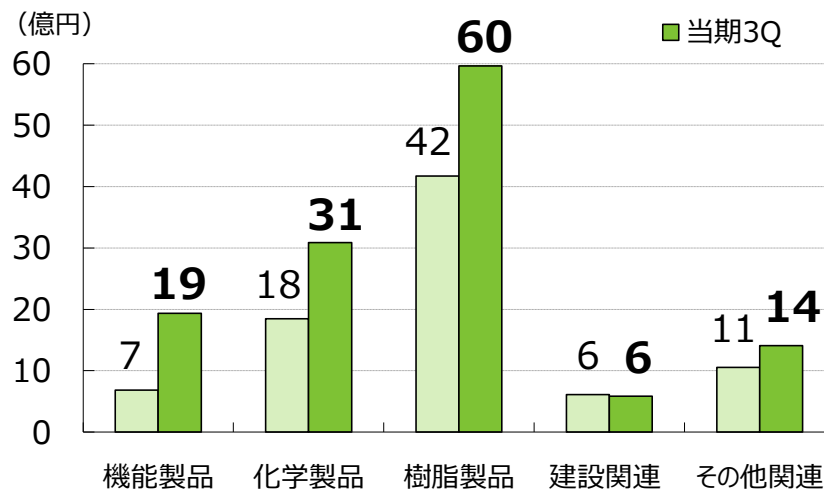
KUREHA

<セグメント別 前年 第3四半期比較>

【売上収益】



【営業利益】



<セグメント別 営業利益の主な増減要因>

- 【機能製品】 機能樹脂の増収、炭素製品の増収などにより、増益。
- 【化学製品】 医薬品が出荷減となるも、農薬の売上増加と工業薬品の採算改善により、合わせて増益。
- 【樹脂製品】 家庭用品、合成繊維、業務用食品包装材の増収により、増益。
- 【建設】 建設事業が増益となるも、エンジニアリング事業が減益となり、合わせて減益。
- 【その他】 産業廃棄物処理の増加などにより、増益。

2018年3月期 第3四半期決算の概要 (3)

株式会社クレハ

2017年3月期 第3四半期 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	220	181	321	92	119	934		934
調整							0	
その他の収益(+)							12	
その他の費用(-)							3	
営業利益	7	18	42	6	11	84	10	93
金融収益(+)	セグメント別営業利益計						5	
金融費用(-)							7	
税引前四半期利益								91
親会社四半期利益								73

…補助金収入 10億円
…固定資産除却損 2億円

2018年3月期 第3四半期 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	308	196	351	123	124	1,102		1,102
調整							2	
その他の収益(+)							2	
その他の費用(-)							9	
営業利益	19	31	60	6	14	130	-5	125
金融収益(+)	セグメント別営業利益計						6	
金融費用(-)							5	
税引前四半期利益								126
親会社四半期利益								95

…環境対策引当金 4億円
…固定資産除却損 4億円

KUREHA

(単位：億円)

	2017年	2018年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
	3Q	3Q		
機能樹脂	139	179	40	29%
炭素製品	32	37	5	17%
クレハ単体 計	171	216	46	27%
連結子会社	175	214	39	22%
連結売上消去	-125	-122	3	-
連結売上収益	220	308	88	40%
連結営業利益	7	19	13	183%

<前年同期比> 増収・増益

機能樹脂

LiBバインダー用途向けPVDF、PPS樹脂、シールドオイル・ガス掘削用途向けのPGAはそれぞれ売上が増加し、増収・増益。

炭素製品

炭素繊維・炭素材料ともに売上が増加し、前期の営業損失から営業利益に。

(単位：億円)

	2017年	2018年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
	3Q	3Q		
農薬	45	66	22	48%
医薬品	45	34	-12	-26%
工業薬品	63	70	6	10%
クレハ単体 計	153	170	16	11%
連結子会社	50	47	-3	-6%
連結売上消去	-22	-20	2	-
連結売上収益	181	196	15	8%
連結営業利益	18	31	12	67%

<前年同期比> 増収・増益

農薬

農業・園芸用殺菌剤の出荷が増加し、増収・増益。

医薬品

慢性腎不全用剤「クレメジン」等の出荷減少により、減収・減益。

工業薬品

無機・有機薬品ともに増収となり、増益。

【樹脂製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2017年	2018年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
	3Q	3Q		
家庭用品	156	167	11	7%
業務用包材	55	49	-6	-11%
クレハ単体 計	212	216	4	2%
業務用包材(海外)	82	96	14	16%
合成繊維	28	32	5	16%
その他	51	55	4	8%
連結子会社 計	161	183	22	14%
連結売上消去	-52	-48	3	-
連結売上収益	321	351	30	9%
連結営業利益	42	60	18	43%

<前年同期比> 増収・増益

家庭用品

家庭用ラップ「NEWクレラップ」、釣糸「シーガー」の売上が増加し、増収・増益。

業務用包材

熱収縮多層フィルムの売上が増加し、増収・増益。

KUREHA

【建設・その他】セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

【建設関連】

(単位：億円)

	2017年	2018年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
	3Q	3Q		
建設関連事業	143	172	29	20%
連結売上消去	-51	-49	2	-
連結売上収益	92	123	31	34%
連結営業利益	6	6	-0	-5%

【その他関連】

環境事業	72	80	8	11%
運輸・倉庫事業	64	63	-1	-2%
病院事業	27	27	-0	-2%
その他	13	14	0	2%
連結子会社 計	177	183	6	4%
連結売上消去	-58	-59	-1	-
連結売上収益	119	124	5	4%
連結営業利益	11	14	4	34%

【建設関連】

<前年同期比> 増収・減益

建設事業の民間・公共工事は増収・増益となるも、エンジニアリング事業は減益となり、合わせて増収・減益。

【その他関連】

<前年同期比> 増収・増益

環境事業は産業廃棄物処理等が増加し増収・増益。

運輸・倉庫事業は売上が減少するもコスト削減により増益。

病院事業は売上、営業利益ともに減少。

KUREHA

1. 資産の部

	2017年 3月末	2017年 12月末	増減
現金・現金同等物	62	62	-1
営業・その他債権	294	335	41
棚卸資産	365	368	3
その他流動資産	32	21	-11
流動資産計	753	785	32
有形固定資産	1,159	1,158	-1
無形固定資産	14	14	0
投資等	423	503	79
非流動資産計	1,596	1,675	79
資産合計	2,349	2,460	111

2. 負債・資本の部

(単位：億円)

	2017年 3月末	2017年 12月末	増減
営業・その他債務	204	213	9
有利子負債	710	508	-202 ※
引当金	61	51	-10
その他負債	114	151	36
負債計	1,089	923	-167
資本金	125	181	57 ※
資本剰余金	94	152	58 ※
自己株式	-45	-7	38 ※
利益剰余金	1,017	1,088	71
その他の資本	51	104	52
非支配株主持分	17	18	2
資本計	1,260	1,538	278
負債・資本合計	2,349	2,460	111

※ 転換社債について…2018年3月満期の転換社債を150億円発行していますが、2017年12月末現在で約99.7%の転換請求がありました。一部自己株式からも払い出し、12月末の発行済み株式数（自己株式を含む）は20,796,171株となっています。

2018年3月期 業績予想 概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 修正予想	増減額 (率)	2018年 3月期 前回予想 ※1	増減額 (率)	2019年 3月期 中計最終年 計画 ※2
売上収益	1,323	1,450	127 (9.6%)	1,450	0 (0.0%)	1,600
営業利益	93	125	32 (35.0%)	120	5 (4.2%)	140
税引前利益	90	125	35 (39.2%)	120	5 (4.2%)	135
親会社利益	70	96	26 (37.1%)	93	3 (3.2%)	90
1株当たり	円	円				
中間配当金	5.5	55.0				
期末配当金	※3 55.0	55.0				

※1…2017年11月8日公表値

※2…2016年5月12日公表値

※3…2016年10月1日付で普通株式を
10株から1株に併合

営業利益修正予想125億円は、第3四半期営業利益累計124.97億円とほぼ同額です。これは、第4四半期において事業活動による売上収益は堅調に推移すると見込む一方、経費および固定資産除却損を含む非定常的な「その他費用」の計上を予定していることによるものです。

<前期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

機能製品と樹脂製品を中心に増加し、増収。

〔営業利益〕

建設関連が減益となるものの、機能製品と樹脂製品が伸長し、増益。

〔税引前利益〕

営業利益の増加により、増益。

〔親会社利益〕

税引前利益の増加により、増益。

<前回予想との主な差異要因>

〔売上収益〕

修正なし。

(機能製品の下ぶれ分を建設関連でカバー)

〔営業利益〕

PGAの計画未達により機能製品が下ぶれするも、樹脂製品を中心に上ぶれし、合わせて上ぶれ。

〔税引前利益〕

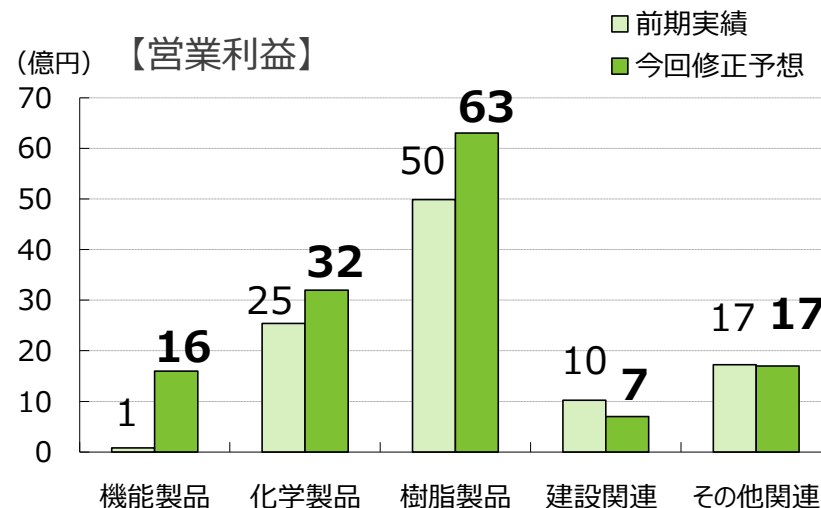
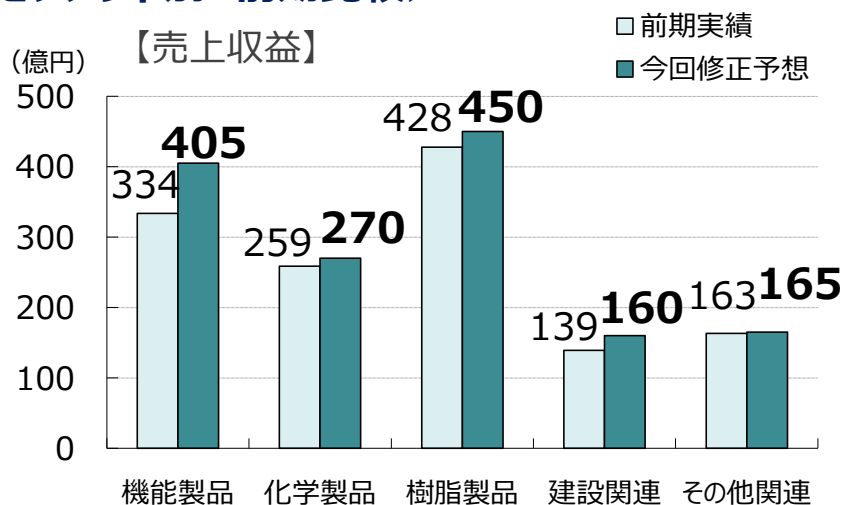
営業利益の増加により上ぶれ。

〔親会社利益〕

税引前利益の増加により上ぶれ。

KUREHA

<セグメント別 前期比較>



<セグメント別 営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 PPS、PVDF、炭素製品の伸長に加え、PGAが米国新会社での販売立ち上げに遅れはあるものの増収となり、増益。
- 〔化学製品〕 医薬品は後発品の影響を受けるものの農薬の伸長と工業薬品の採算改善により、増益。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品と合成繊維の伸長により、増益。
- 〔建設〕 売上は増加するも、工賃・資材費等の上昇により、減益。
- 〔その他〕 前期並みを予想。

2018年3月期 業績予想 概要 (3)

株式会社クレハ

<セグメント別 前期比較>

2017年3月期 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	334	259	428	139	163	1,323		1,323
調整							1	
その他の収益(+)							14	
その他の費用(-)							26	
営業利益	1	25	50	10	17	104	-11	93
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						6	
金融費用(-)							9	
税引前利益								90
親会社利益								70

…補助金収入 10億円
 …事業撤退・構造改革 19億円
 固定資産除却損 5億円

2018年3月期 今回修正予想 (2018/2/8修正)

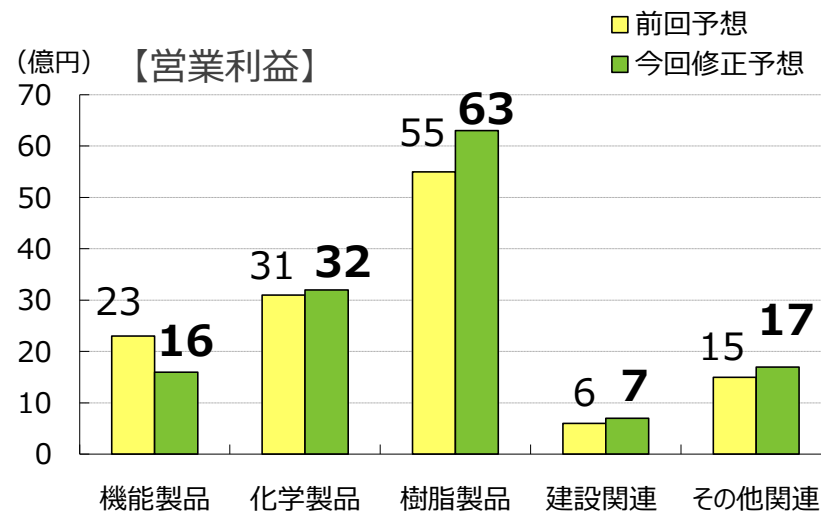
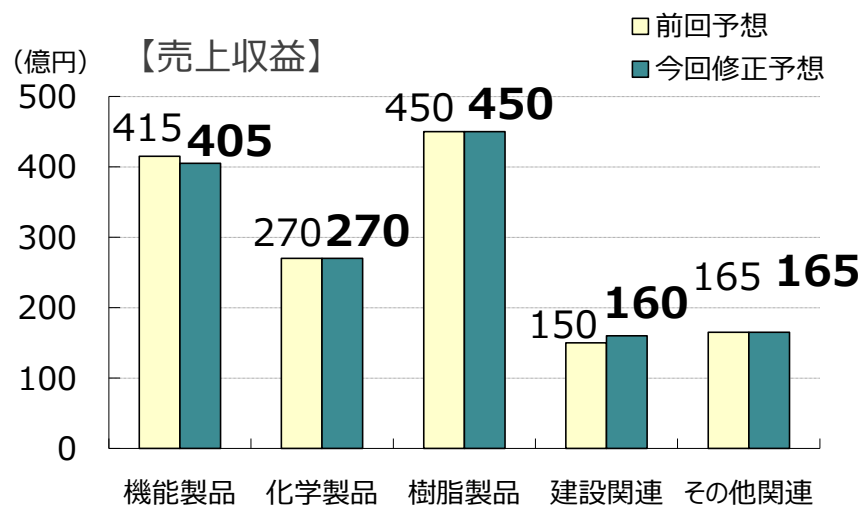
(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	405	270	450	160	165	1,450		1,450
調整							0	
その他の収益(+)							4	
その他の費用(-)							14	
営業利益	16	32	63	7	17	135	-10	125
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						6	
金融費用(-)							6	
税引前利益								125
親会社利益								96

…固定資産除却損 10億円
 環境対策引当金 4億円



<セグメント別 前回 (2Q時) 予想との比較>



<セグメント別 営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 PGA米国新会社での販売立ち上がりの遅れにより、下ぶれ。
- 〔化学製品〕 ほぼ前回予想どおり。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品の販売好調と経費減により、上ぶれ。
- 〔建設〕 ほぼ前回予想どおり。
- 〔その他〕 産業廃棄物処理の増加と経費減により、上ぶれ。

2018年3月期 業績予想 概要 (5)

株式会社クレハ

<セグメント別 前回 (2Q時) 予想との比較>

2018年3月期 前回予想

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	415	270	450	150	165	1,450		1,450
調整							0	
その他の収益(+)							4	
その他の費用(-)							14	
営業利益	23	31	55	6	15	130	-10	120
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ㄩ						5	
金融費用(-)							5	
税引前利益								120
親会社利益								93

…固定資産除却損 10億円
環境対策引当金 4億円

2018年3月期 今回修正予想 (2018/2/8修正)

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	405	270	450	160	165	1,450		1,450
調整							0	
その他の収益(+)							4	
その他の費用(-)							14	
営業利益	16	32	63	7	17	135	-10	125
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ㄩ						6	
金融費用(-)							6	
税引前利益								125
親会社利益								96

…固定資産除却損 10億円
環境対策引当金 4億円

KUREHA

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。